

広報あやべ

ねっと

令和7(2025)年

1

第831号



＜今月の表紙＞

「お正月飾りワークショップ」が12月22日、鍛冶屋町の里山交流研修センターで開催されました。参加した親子連れらは、お正月に向けてオリジナルのリースを作り上げました。

- 2 | 令和6年の綾部市政
- 4 | 市民に聞く 新年の抱負
- 5 | アリスさんちの囲炉裏端 絶賛放送中！
- 6 | 税の申告 2月17日～3月17日

令和7年 年頭のごあいさつ

綾部市長

小南 孝也



明けましておめでとうございます。よき初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

ご告知のとおり昨年は、元日に能登半島地震が発生しました。また近年の地球温暖化による異常気象は、我が国にも毎年のように甚大な自然災害を発生させており、9月には、能登の被災地に追い打ちをかけるかのように豪雨災害をもたらしました。改めて、被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

本市では、昨年は大きな災害に見舞われることはありませんでしたが、中山間地の自然災害のリスクはどこも同じであり、安全・安心のまちづくりを加速化させる必要があることを、改めて認識したところです。

昨年11月には、あやテラスがオープン1周年を迎えました。想像していた以上の入館者数であり、誠に感慨深いものがあります。今後も施設の更なる充実を図り、本市のランドマークとして、周辺のあやベグンゼスクエア、市民センター、北部産業創造センター、あやベ健康プラザや商業施設とともに都市機能の一翼を担い、駅周辺のにぎわいづくりに貢献できるものと期待しているところです。

さて、我が国の人口減少は今後も避けられず、地方の自治体においては、従来の公共サービスを自前で提供することが困難になることが予想されます。また、経済社会構造の変化や住民ニーズ・価値観の多様化、災害の頻発化・激甚化など、複雑多岐にわたる行政課題に対して、人口減少を見据えた持続可能なまちづくりをしていかなくてはなりません。社会情勢を見極めながら最適値を見出し、財政規律を保ち、バランスのとれた市政運営に努める所存です。

本市は本年、市制施行75周年を迎えます。歴史の積み重ねの上に今があります。未来は現在の連続であり、我々の現在の選択が未来を切り拓いていきます。ふるさと綾部の将来がより良いものとなるよう市政のかじ取りをする所存ですので、引き続き、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸とご健勝、内外の平和と安寧をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



災害が本市初となる「防災功労者防災担当大臣表彰」を受賞10月あやバス累計乗車人数が400万人を突破▽全国足利氏ゆかりの会の総会が20年ぶりに本市で開催▽AR防災訓練機器導入11月「あやつこナビ」運用開始▽新都市公園の名称が「あやパーク」に決定12月高規格救急自動車の寄贈を受ける(15面参照)



広報紙で振り返る一

令和6年の綾部市政

【市民プールがリニューアルオープン】7月、大島町の市民プールがリニューアルオープン。幼児用プールには滑り台を新設しました1写真①。

【常熱市に公式団派遣】7月、中国・常熱市との友好都市締結35周年を記念し、岩本正信副市長をはじめとする公式訪中団が、市民団とともに常熱市を訪問しました2写真②。

【全話文化ディスプレイを導入】8月、障害者支援課と市民・国保課窓口にて、会話を文字化して表示する透明ディスプレイを設置しました3写真③。

【全国茶品評会で産地賞に】第78回全国茶品評会のかぶせ茶の部門で、本市が2年ぶり8度目の産地賞を受賞。11月2日の表彰式で、優勝旗を受けました4写真④。

【あやテラス1周年】11月、あやテラスがオープン1周年を迎えました。17日には、あやつこひろばの利用者数が5万人を突破。記念セレモニーを実施しました5写真⑤。

【その他の出来事】

1月 能登半島地震被災地へ職員派遣開始▽コカ・コーラボトラーズジャパン、遠東石塚グループにペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結2月 国保料12年ぶりの引き上げ答申3月 山家地区交通空白地有償運送事業「山タク」開始▽市文化・スポーツ表彰式を初開催▽綾部市史の続編を発行4月 友好都市・中国常熱市の卓球交流団が来綾▽市地域情報アプリ「あやナビ」運用開始▽市内中学校の部活動の地域移行を試験的に実施▽あやバスダイヤ改正、中学生以下運賃無料に5月 あやベグンゼスクエア10周年11写真⑥6月 あやベ・日東精工スタジアムのスコアボード改修完了11写真⑦▽成年後見支援センター「こうけん・あやべ」を開設7月 高齢者等ごみ出し支援員別収集事業を開始▽大塚製薬と包括連携協定を締結8月 下原町の齋神社が重要文化財に指定11写真⑧▽東八田分団が府消防操法大会で準優勝11写真⑨▽飛び立て！中学生海外派遣事業で5年ぶりに海外へ9月 下市自主防



主人公アリス役の馬場ふみかさん（左から2人目）、幼なじみの高校生を演じた佐藤瑠雅さん（左端）、ドラマオリジナルキャラクター「林田哲次」で出演するジャンプハットてつじさん（右端）。佐藤さんは、綾部高校の制服姿で登場しました

市民もエキストラ出演
ドラマは、キナミブンタさん原作の漫画を実写化。あやべ地域交流大使のてつじさんから誘致の提案を受け実現しました。10年ぶり

市内をロケ地として撮影されたドラマ「アリスさんちの囲炉裏端」が絶賛放送中です。昨年12月16日には、あやテラス・ホール（青野町）で完成披露試写会が開催され、主演の馬場ふみかさんと佐藤瑠雅さん、ジャンプハットてつじさんが登壇しました。

ドラマ「アリスさんちの囲炉裏端」 出演者3人が試写会に登壇！

絶賛放送中

放送情報

- ・BS-TBS 毎週火曜日午後9時～
 - ・KBS京都 毎週土曜日午後11時30分～
- ※放送時間は番組編成の都合などにより変更になる場合があります。

配信情報

- ・Lemino（先行見放題独占配信）
- ・TVer（見逃し配信）
- ・スマートフォンにアプリをインストールするなどして視聴できます。



1月14日に放送された第2話のワンシーン（©キナミブンタ／集英社・「アリスさんちの囲炉裏端」製作委員会）

市民に聞く 新年の抱負

明けましておめでとうございます。巳年に生まれた、年男・年女の皆さんの新年の抱負をお届けします。



大会で一勝！

級を上げる

森本らん さん（上原町）
2013（平成25）年生まれ



丸山光希 さん（味方町）
2013（平成25）年生まれ

ベンチプレス
100kg



江本圭吾 さん（瀬垣町）
2001（平成13）年生まれ



小林昌宏 さん（新庄町）
1965（昭和40）年生まれ

健康でいたい！



岩上文子 さん（故屋岡町）
1953（昭和28）年生まれ

ヘビのように
何事も粘り強く頑張ります



本田隆貴 さん（上延町）
1977（昭和52）年生まれ

健康で良い1年を
過ごせますように



ホアン スアン フン
HOANG XUAN HUNG さん
（上延町）
1989（平成元）年生まれ

いっぱい楽しいことを
したい!!



レー ホアン トゥオン
LE HOANG THUONG さん
（井倉新町）
1989（平成元）年生まれ

素敵な出会いが
ありますように

健康第一で
ボランティアを頑張る！



鎌部俊夫 さん（五津合町）
1953（昭和28）年生まれ

ヘビ一級の幸せが訪れますように!!





2月17日～3月17日

令和6年分の市・府民税の申告や、所得税の確定申告は2月17日から3月17日まで、市役所まちづくりセンターで受け付けます。期限内の申告をお願いします。(記事ID2884)

受け付けは予約制

市・府民税の申告が必要な人は、令和7年1月1日現在で本市に住所があり▽令和6年1月1日～12月31日に所得があった人▽所得税の申告が不要な公的年金受給者等で、配偶者控除等を追加する人や公的年金等のほかに20万円以下の所得があった人などです。市役所での申告には、事前予約が必要。ウェブ予約は2月1日(土)から、電話予約は2月3日(月)から受け付けます。希望日の前々日(土・日曜日、祝日除く)までに申し込んでください。

ウェブ予約

2月1日に公開する



予約フォームから申し込み。
電話予約 受付専用ダイヤル ☎ (42)1261 (平日午前9時～正午、午後1時～5時) へ。
申告や無料相談の詳細は、10面とお知らせ版をご確認ください。

ネット申告がおすすめ

所得税等の申告は、インターネットからが便利。パソコンやスマホなどを使って、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」から、画面の案内に従って入力するだけで簡単に作成できます。マイナンバーカードとスマホがあれば、e-Taxで送信も可能。さらに、マイナンバー(マイナンバーカードを使ってオンラインで行政手続き等ができるサイト)と連携すると、各種控除証明書等の情報が該当項目に自動入力されます。詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。

シリーズ 人権を考える

人権を考えるセミナー

「たわいもない一言に潜む差別の芽」

立命館大学国際関係学部准教授 金友子さん

11月20日に開催された第4回人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

見えにくい細かい攻撃

講師の金さんは、日本生まれ日本育ちの在日3世。これまでの自身の経験を交え、無意識・無自覚による差別「マイクロアグレッション」について講演しました。

金さんは、自己紹介で自分の名前を伝えると「日本語お上手ですね」「いつ日本に来たの」とい

外国人なのに日本語上手ですね

女性なのにすごい



う言葉を何百回と聞いた。その度に傷つき、心の痛みが蓄積された」と体験談を語り「大きな社会問題となっているヘイトスピーチなどの『見える』差別とは異なり、マイクロアグレッションは日々のささいな言葉や行動で繰り返される。可視的ではないため問題視されにくい、日常に潜む差別」と説明。こうした差別をなくしていくためには「問題点を相手に伝え、気付いてもらうことが必要」と訴えました。

日常生活や会話の中の何げない言葉が、結果として相手を傷つける場合があります。大切なのは、コミュニケーションを取る相手を尊重し、偏見や先入観を捨てて一人として接すること。そして、相互理解を深め問題を指摘し合える関係を築くことではないでしょうか。



あれから30年

今年もまた1月17日の朝を迎える。1995年の大震災当時は前職の大阪勤務で、住まいは西宮市夙川。ただしこの日は前日から九州出張に出かけていて、自身は直接の揺れを経験していない。急遽予定を変更し帰路を急いだ。幸い朝一番の便は飛んでいて伊丹までは戻れたものの、空港は大混雑。自宅までの道中も、横倒しになった阪神高速の橋脚や形を無くした家屋を横目にまさに「ゴー＆バック」の繰り返しであったが、それでも勇敢なタクシードライバーに恵まれた4時間かけて西宮北口に辿り着いた。

家族の声は九州からほんの瞬間だけ繋がった携帯電話で確認していたが、元気な姿を目にした時の安堵を忘れることができない。しかし家の中は家具が倒れ、割れた食器が散乱しており、子ども部屋

のベッドの上には本棚が倒れている始末。虫の知らせか子どもたちは私が出張中のため親の寝室に移って寝ていたとのこと。難を逃れたが、そうでなければと考えると身震いする思いだった。時の経過とともに甚大な被害状況、そして近隣の親しかった人や取引先等の不幸が判明し涙した。震災直後、家族は東京に一時避難したが、学校が始まると呼び戻したものの、復旧していたのはほんのうじて電気だけ。水は週末に綾部から運び、電気ポットで沸かした湯で体を拭き、カセットコンロで炊き出した。連日キャンプのような生活は今となっては懐かしもあるが、水やガス等のライフラインが復旧するまでの2カ月は本当に大変だったことを鑑みるに、今回の能登の復旧の遅れが懸念される。

あれから30年。今も震災直後の被災地の光景は脳裏に焼き付いている。また未曾有の困苦を共にした職場の同僚はまさに「戦友」として生涯の付き合い合っている。それでも少しずつはあるが人の記憶は薄れていくものだ。残しておきたい記憶も、残したくない記憶も、風化には抗えないのか。

山崎善也(綾部市長)

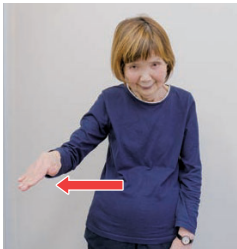


今月の手話

平成



右手の甲を上にして指先を前に向け

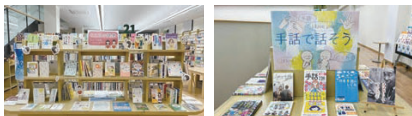


水平に右へ動かす

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

図書館ほんでほんで通信mini

1階の展示棚＝写真左＝、2階ギャラリー＝写真右＝では、毎月いろんなテーマで本を紹介。今年もぜひ、図書館でたくさんの本に触れませんか？



テーマ「長いものは、めでたい!」

「巳年」のへびにちなんで、長いものや長生きに関連する本、へびが登場する本などを50冊展示!

期間 1月26日(日)まで
場所 1階文学の森展示棚

テーマ「みんな大好き☆給食を知ろう!」

給食に関連する本を50冊展示予定! 給食の歴史が分かるパネル展示も行います。

期間 1月18日(土)～2月16日(日)
場所 2階ギャラリー

<問い合わせ> 図書館 ☎(42)6980 ☎(42)4570



あやちゃん健康だより

<問い合わせ>
保健推進課
☎(42)0111 ☎(42)5488

大腸がん検診は お済みですか



詳しくはこちら

大腸がんは、男女ともに2番目に罹患^{りかん}者数が多いがんです。大腸がんにかかる人は40歳から増加。40歳になったら、1年に1回は検診を受けましょう。

対象者 本年度末の年齢が40歳以上の綾部市民
(本年度未受診の人)

期 間 3月31日(月)まで

検査内容 便潜血検査(便に潜む血液の有無を調べる検査)

費 用 500円(自己負担免除制度あり)

受診方法 個別検診(右記の医療機関へ直接申し込んでください)

医療機関名	電話番号
あやべ協立診療所	(42)3684
綾部ルネス病院	(42)8601
大久保医院	(42)1190
京都協立病院	(42)0440
志賀郷診療所	(49)0210
西村医院	(47)0321
野間医院八田診療所	(44)0001
畑内科医院	(43)2334
安村外科内科診療所	(40)2210
山下整形外科医院	(40)2588
横山医院	(42)1073



65歳の人は 成人用肺炎球菌ワクチン接種の対象です

詳しくはこちら



肺炎の主な原因となる肺炎球菌の感染症予防に効果が認められているワクチンです。65歳の人で、初めて予防接種を受ける人に接種費用の一部を助成しています。定期接種として受けられるのは、生涯で1回限りです。機会を逃さないようご注意ください。

対象者 市内に住所があり、次のいずれかに該当する人
1. 接種日時時点で65歳の人
2. 60~64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に一定の障害がある人

期 間 3月31日(月)まで

費 用 4,000円(自己負担免除制度あり)

風しん抗体検査・予防接種は 2月28日まで

クーポン券を使用した無料の抗体検査と風しんの予防接種は2月28日(金)で終了します。

対象者

昭和37年4月2日~昭和54年4月1日に生まれた男性
※紛失などでクーポン券が手元ない人は再発行します。

詳しくは
こちら



クーポン券の
再発行は
こちらから



元気はつらつ教室

理学療法士による講演「あなたの暮らしにリハビリテーション」を行います。誘い合わせてご参加ください。

日 時
2月21日(金)13:30~15:00

場 所
保健福祉センター(青野町)

申し込み
事前に保健推進課へ(定員80人)。
1月21日(火)~受け付け開始



2 月の子育て行事 ★は要予約



あやこひろば(あやテラス内) ☎(45)6377 ☎(45)8825

イベント	対象	日程	時間	予約
おやこde体操(リズム体操)	2歳~小学2年生の子と保護者(15組)	2月1、15日(土)	10:30~11:00	★
CoCoぶらす講座(Toy・トイ)	0~3歳の子と保護者	2月5日(水)	10:30~11:30	★
CoCoひろば(室内deゆきがっせん!)	未就学の子と保護者	2月26日(水)		

みにみにひろば(なかつじ児童センター) ☎(44)1022 ☎(45)8825

イベント	対象	日程	時間	予約
まめまき		2月4日(火)		
2、3月のおたんじょう会	未就学の子と保護者	2月18日(火)	10:30~正午	★
おやこdeカフェ		2月25日(火)		★

のびのびひろば(宮代児童センター) ☎(42)9845 ☎(45)8825

イベント	対象	日程	時間	予約
木のおもちゃ遊び		2月6日(木)		
自由遊び	未就学の子と保護者	2月13日(木)	10:30~正午	
遊具あそび		2月20日(木)		
おひな様飾りの制作		2月27日(木)		

※内容が変更になる場合があります。

にこにこひろば(物部児童館) ☎(49)1195 ☎(45)8825

イベント	対象	日程	時間	予約
楽しくリズム遊び	未就学の子と保護者	2月10日(月)	10:30~正午	
2月お誕生会&おたのしみ		2月17日(月)		

相談・教室など

<申し込み・問い合わせ>
こども支援課 ☎(42)0020 ☎(42)5488 ✉kodomoshien@city.ayabe.lg.jp

行事名	対象	日 時
①育児相談	生後4カ月~就学前の乳幼児と保護者	2月4日(火)午前
②助産師相談	妊婦、産後のママ(里帰り中も可)、その家族	2月5、12、19、26日(水)9:00~正午
③ぶくぶくひろば	妊婦、生後6カ月までの乳児と産婦、その家族	2月16日(日)9:30~正午 (前後する場合があります)
④産後ママのリフレッシュケア	おおむね生後1~6カ月の乳児と産婦	2月28日(金)10:00~14:30

場所:①②③保健福祉センター(青野町)、④あやべ温泉二王館(睦寄町)

市・府民税の申告受付・相談

市は、令和6年分の市・府民税の申告を受け付けます。
日時／2月17日(月)～3月17日(月)の平日9時～正午、13時～16時(8時30分開場)。
場所／市役所まちづくりセンタ12階。申告に必要な書類／マイナンバーカード(もしくはマイナンバー通知カードと本人確認書類)、源泉徴収票(給与所得者・年金受給者)、生命保険料や地震保険料の控除証明書、医療費控除明細書など。**その他**／農業・営業・不動産等の収支内訳書や医療費控除の明細書は、自宅で作成して持参してください。
図 税務課 ④(42) 4 2 3 5

確定申告に必要な書類を発行

市は、介護保険の要介護認定を受けている人のうち、確定申告で税控除の申告をする人に、確認書や認定書を発行します。発行は無料です。必要な人は、該当するかどうか

図書館臨時休館

図書館は、年に一度の蔵書点検のため、次の期間休館します。
休館日／2月17日(月)～25日(火)。その他／休館中の本の返却は、返却ポストをご利用ください。返却ポストは、時間に関係なく利用できます。
図 同館 ④(42) 6 9 8 0
F (42) 4 5 7 0

あやべ温泉臨時休館

あやべ温泉は、設備メンテナンス等のため、次の期間休館します。
休館日／2月1日(土)～28日(金)。
図 同温泉 ⑤(55) 0 2 6 2

日頃の悩みなどを相談しませんか

綾部市精神保健家族会は「こころの健康に関する家族相談会」を開催します。同じ立場の家族や府こころの健康推進員が、精神障害者のいる家族が持つ日頃の悩みなどの相談に乗ります。

高齢者支援課で事前に確認の上、申請してください。

おむつ代の医療費控除／確定申告でおむつ代の医療費控除を受ける人に、おむつが必要であることを証明する「確認書」を発行します。令和5年以前の確定申告で、おむつ代の医療費控除が初めての人は、主治医の「おむつ使用証明書」が必要です。**障害者・特別障害者控除**／65歳以上で、身体障害者手帳を持っていないくても「身体障害者等に準ずる」と市が認定した人に「障害者控除対象者認定書」を発行します。
図 同課 ④(42) 4 2 6 1

物価高騰非課税世帯支援給付金

食料品やエネルギー等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯を支援するための給付金を支給します。
対象／①基準日(令和6年12月13日)に綾部市に住民登録があり、令和6年度分の住民税(均等割)が非課税の世帯(ただし、住民税均等割が課

日時／2月18日(火)13時30分～15時30分。**場所**／あやべ・日東精工アリーナ第2会議室(市民センター、西町三丁目)。**対象**／市内在住の人。
図 同会会長 永井智子
☎ 080(1)458 8759
障害者支援課 ④(42) 4 3 1 8
F (42) 8 9 5 3

出張がん個別相談

府がん総合相談支援センターは、がんに関わる出張相談を行います。
日時／2月20日(木)13時30分～15時30分。**場所**／府中丹東保健所(舞鶴市)。**相談員**／保健師か看護師。**相談料**／無料。**申し込み**／前日の16時までに同センターへ。**その他**／月々金曜日の9時～正午と13時～16時、電話か対面での相談も行っています。
図 同センター
☎ 0120(0)73 394

募集

高校生給付型奨学金(1次)

府は、高校生を対象に奨学

税されている人の扶養親族等のみからなる世帯を除く。②①の世帯員である18歳以下の子ども(こども加算)。**支給額**／一世帯当たり3万円。子ども1人当たり2万円。**申請期限**／7月31日(木)。**その他**／対象世帯には「確認書」や「お知らせ」が届きます。基準日以降に出生した子どもは、申請が必要です。詳しくは、社会福祉課へお問い合わせください。
図 同課給付金窓口
☎ (42) 3 2 8 0(内線403)

青少年地域活動支援事業補助金

市は、地域の青少年育成団体を支援することを目的に、補助金を交付します。
対象団体／市内在住で、おおむね18歳以下の子どもたちが参加し▽異世代間交流▽生活体験活動▽社会奉仕体験活動一等を実施する年間活動時間が20時間以上の団体(ただし、地区公民館が実施主体となるものや、他の組織に属する団体は対象外)。**対象経費**／団体の活動に要する経費。**補助金額**／1団体につき補助事業

に要する経費の2分の1以内(上限3万円)。ただし申請団体が多い場合は、予算の範囲内で補助。**申請**／交付申請書に必要な事項を記載の上、3月28日(金)17時15分までに社会教育課へ持参してください。
図 同課 ④(42) 4 3 2 6
F (43) 0 9 9 1

人権教育講演会

市人権教育推進連絡協議会と市、市教育委員会は、人権が尊重される社会の実現に向け、人権教育講演会を開催します。
日時／2月15日(土)13時30分。**場所**／中丹文化会館(里町)。**演題**／「なぜ部落差別について学ぶの?」差別する人がいなければ、差別される人はいなくなる。講師／本江優子さん(反差別・人権研究所所見事務局長)。**その他**／要約筆記あり。手話・保育ルームを希望する場合は1月31日(金)までに電話かフ

図 同課
☎ (42) 4 3 2 6
F (43) 0 9 9 1

金を支給します。

対象／生活保護世帯。市民税非課税世帯のうち▽ひとり親世帯▽障害者世帯(父母かその一方が身体障害3級以上など)▽児童世帯▽長期療養者世帯／ほか支給要件あり。**申請期間**／2月3日(月)～28日(金)。**申請書**／府中丹東保健所(舞鶴市)と府中丹波域振興局綾部地域総務防災課(川糸町)で配布。**その他**／詳しくは同保健所へ。
図 同保健所福祉課
☎ 0773(75) 0 8 5 6

知事と新入学児童等のつどい

府は「ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい」の参加者を募集しています。知事とのレクリエーションや記念品の贈呈を行います。
日時／3月2日(日)10時30分～14時。**場所**／府立総合社会福祉会館ハートピア京都(京都市)。**申し込み**／はがきに「新入学児童のつどい参加希望」と明記し▽住所▽郵便番号▽電話番号▽保護者名▽新入学児童および同行する兄弟姉妹の名前・フリガナ・生年

月日・性別・現学年▽交通手段と経費(片道分)▽参加人数／を記入し1月31日(金)までに郵送。あて先／〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375(府立総合社会福祉会館内)府母子寡婦福祉連合会(母子家庭)か府民生児童委員協議会(父子家庭)へ。**その他**／京都市在住者を除く。昼食付き。当日欠席者は記念品なし。旅費は一部主催者負担。
図 府中丹東保健所福祉課
☎ 0773(75) 0 8 5 6

人口・火災

1月1日現在の綾部市の推計人口は30035人(男14388、女15647)。世帯数は13781世帯です。令和6年の火災発生件数は11件(建物9件)でした。

家庭ごみの処理量

12月の燃やして処理するごみは402ト(前年比6・0割減)、燃やさないで処理するごみは95ト(同4・0割減)でした。

リフォームから新築まで
 住まいのごとご相談ください
 住まいのお医者さん
リフォームショップ koh
TEL.0773-40-2088
 綾部市西町2丁目52-15

京都北都信金アプリ
 ほくとしんきんが
 スマホのなかに
 ご利用無料
 綾部中央支店
 西町支店
 中筋支店
TEL.0773(42)0380
TEL.0773(42)1080
TEL.0773(42)7788
 京都北都信用金庫

2025年もよろしく願いいたします
職員募集!
 お気軽に見学に来てくださいね!
 職種:ケアマネジャー、介護職員(特養・デイサービス)
 訪問介護員、調理員、生活支援員(障害者施設)
 詳細は、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会HPで
いこいの村聴覚言語障害センター
 綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地
TEL.(0773)46-0101 FAX.(0773)46-0610 総務課

シルバー人材センターです
 いろいろなお仕事をしています
 お仕事一例
 除草・剪定・草刈り・庭木の剪定
 営繕………大工仕事(修理・補修)・障子・襖・網戸張替
 軽作業………清掃、不用品等運搬、軽作業全般
 家事援助………ゴミ出し、掃除、買い物、話し相手
 お問合せ 公益社団法人綾部市シルバー人材センター
 〒623-0053 綾部市宮代町明知11番4/
 ホームページ <https://www.sjc.ne.jp/ayabe/>
会員募集
 ～入会説明会～
 開催/毎月第2・第4火曜日
 時間/午後1時30分～3時
 場所/綾部市シルバー人材センター
 センターホームページから
 入会申込の登録が出来ます。
初年度会費無料

高規格救急車の寄贈受ける

市は12月23日、日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受けました。今回寄贈された車両は、救命処置のための資機材に加え、活動状況によって発光パターンが変わる赤色灯などを備える最新型。今年6月開所の西部地域消防防災拠点施設に配備する予定です。塩見幸作消防長は「救急件数は増加している。市民の安全・安心の確保のため有効に活用する」と感謝を述べました。



卒業証書は手作りの和紙で

府の無形文化財に指定されている黒谷和紙。市内の小学6年生は毎年、卒業証書に使う和紙を自分たちの手ですきます。12月17日と18日には、中筋小学校の児童らが十倉名畑町の黒谷和紙工芸の里を訪れ、黒谷和紙協同組合の職人から手ほどきを受けながら紙すきに挑戦。小雲文太郎さんは「想像以上に難しかった。思い出に残る体験ができた」と笑顔を見せました。



新年への思い新たに

日本ボーイスカウト綾部第2団（猪岡敏一団委員長）は1月1日の早朝、上野町の藤山公園（寺山山頂）で元旦寺山山頂国旗掲揚式を開催。国旗・市旗・世界連邦旗の掲揚や市民憲章の唱和、平和の鐘の打ち初めなどが行われました。この日は眼下に雲海が広がる中で初日の出が見られ、集まった人たちは絶景を楽しみながら新年への思いを新たにしました。



人権課題を考える

市とあいフェスティバル実行委員会（林多嘉子委員長）、部落解放・人権政策確立要求綾部実行委員会（委員長、山崎善也・綾部市長）は12月15日、西町一丁目のI・Tビルで「あやべ人権・あいフェスティバル」を開催しました。今回のテーマは「だれもが輝く未来へ向かって」。ワークショップや団体の活動展示など多彩な事業のほか、海上保安庁で初の女性リーダーとして活躍した永田潤子・大阪公立大学大学院教授の講演も行われました。

永田さんは「女性の役員を増やすことは、意思決定層に多様な視点を取り入れるために重要。男性中心の社会では女性の視点が欠け、働きやすい環境が整備されにくい。女性の視点を加えることで、社会の多様性が向上し、より良い社会の実現につながる」と訴えました。



会場を彩る葉ぼたん

市シルバー人材センター（吉田豊理事長）は12月13～15日、青野町のあやべグンゼスクエアで「第32回市民葉ぼたん展」を開催しました。今年は34人と1団体が計99点の作品を出展。会場には、色鮮やかな葉ぼたんが並び、お正月飾り用に買い求める人もいました。



丹精込めて育てた自然薯を販売



水源の里・市野瀬（波多野耕三郎代表）は12月15日、陸寄町のあやべ温泉前で「じねんじょ祭」を開催しました。地元の農家が丹精込めて育てた自然薯100本を用意。温泉客らに市野瀬自慢の特産品を紹介しながら、楽しく交流を図りました。毎年訪れるという常連客もあり、大変好評を得ています。

被爆体験談から平和の尊さを学ぶ

岡安町の西八田小学校は12月12日、被爆体験証言講話を実施。8歳のときに被爆体験をした八幡照子さん（広島市）が、4～6年生の44人に自身の経験を話しました。八幡さんは「原爆が落とされたとき、私は裏庭にいた。空が青白い光で照らされた瞬間が今でも忘れられない。白いご飯を食べる幸せは、平和があってこそ感じられるもの。家族との思い出は、今も私の心に残ってる。家族はかけがえのない存在。みんなも大切に」と語りました。



高齢者福祉を支えて25年

あやべ福祉フロンティア

綾部発
情報
すくらんぶる
129

あやべ福祉フロンティア
創立25周年記念式典・懇親会



今回は、創立25周年を迎えた「あやべ福祉フロンティア」
(玉川弘信理事長)を紹介します。



清山荘は高齢者の交流の場。気軽にご利用ください

運転ボランティアを募集

昨年度の移送回数は3万7千回

団体は、平成11年8月に設立。以来、本市の高齢者福祉の一翼を担い続け、昨年、創立25周年を迎えました。

事業は高齢者、障害者の通院・通所などの外出支援のための移送ボランティアからスタート。平成15年には、市の委託事業として在宅高齢者移送サービスを開始しました。現在では、市立病院で受け付けや移動が困難な人を手助けする介助ボランティアや、清山荘(里町)の運営など活動の幅を広げています。

移送ボランティアからスタート

超。移送サービスは、約70人で運転を担っているものの、高齢化などによるボランティアの減少が課題となっています。

ボランティアを20年以上続けている近江勤さん(位田町)は「大きな事故もなくここまでやって来られました。運転の定年まで無事に勤めたい」と意欲的。同じく石井勝美さん(西方町)は「利用者のありがたうの言葉が励み。人の役に立っていることに誇りを感じています」と話します。同団体では、今後も安定してサービスを提供するため、運転ボランティアを募集しています。運転が好きな人、ボランティアに興味がある人は、気軽に事務局☎(45)3233へ連絡してください。

事業継続が助けに

設立以来「困った人を助けたい」「何かお手伝いをしたい」という気持ちを持ち続け、25周年を迎えることができました。事業を継続することが、誰かの助けになっていると感じています。時代の変化に対応しながら、今後も運営を続けていきます。



あやべ福祉フロンティア
理事長
玉川弘信さん